

議会だより



子どもたちの発表会（星城幼稚園）

- 審議議案 10月臨時会・12月定例会について … 2～3
- 一般質問 8人の議員が質問 ……………… 4～8
- 観察研修報告 ……………… 9
- 住民の声・まちの力 ……………… 10

新春の

ごあいさつ



小豆島町議会 谷 康男
議長



藤本 傳夫 三木 卓 大下 淳
森 弘章 藤井 孝博 中松 和彦
大川 新也 柴田 初子 森 崇
森口 久士 安井 信之 鍋谷 真由美
浜口 勇

10月臨時会

第2回臨時会を10月
31日に開催しました。

契約案件1件が提案され、慎重に審議した結果、原案通り可決しました。

契約案件1件が提案され、慎重に審議した結果、原案通り可決しました。

契約

植松都市下水路2号雨水幹線新設工事（その

7) 相手方 (有)大和建設
契約金額 1億476万円

一般会計

追加補正予算額

9033万円

審議した議案

補正予算

一般会計（第3号）

（総務費関係）

会計年度任用職員制度

導入業務委託料

200万円

地方公務員法及び地

方自治法の改正に伴

い、32年度から会計年

度任用職員制度が導入

されることになつたた

め、例規整備をはじめ

とする専門性の高い業

務の委託料です。

質疑 家屋調査は実施しているのか。また、被害が出た場合の対応はどうなつているのか。

答弁 実施している。

家屋に被害が出ないよう、矢板压入工法を採用した。保険についても、業者が加入することになる。

質疑 修繕料が935万円だが、一体何を修繕するのか。

12月定例会

12月定例会を12月12日・13日の2日間開催しました。

条例案件1件のほか、その他案件2件、予算案件2件、が提案されました。その他案件1件は教育民生常任委員会に付託し、慎重に審議しました。全ての議案は原案通り可決しました。

また、8人の議員から一般質問があり、町の将来に向けた討議を行いました。

ト等、前回、前々回に作成された作品や展示場の修繕を行う。

旧内海庁舎解体撤去
工事設計委託料

質疑 修繕料が935万円だが、一体何を修繕するのか。



宝食品倉庫

質疑 草壁で作品展開をする」と聞いているが、どこで、どのようにすることをするのか。

答弁 要望を出しているが、作家は決定していない。草壁港にある宝食品倉庫を利用する予定である。

19に向けて、看板整備や作品制作に要する費用です。

電算システム改修委託料

195万円

税制改正に合わせた
システムの改修委託料
です。

(農林水産業費)

オリーブ生産拡大総合
支援事業補助金

84万円

剪定枝粉碎用機械の
購入に対する補助金を
増額補正します。

漁港整備工事費

910万円

蒲生漁港の防波堤石
積みの補修工事費です。



(土木費)

道路補修工事費

1781万円

水道管の布設替等を行
った際の路面復旧工
事費を増額補正します。

改良住宅修繕料

700万円

改良住宅の老朽化や
退去後の修繕費を増額
補正します。

(教育費)

78万円

全国大会出場が増加
したため、補助金を増
額補正します。



中山分館駐車場 整備工事費

854万円

池田公民館中山分館
グランドの舗装等整備
の工事費です。

答弁

補助率は2分の1で見積書が提出され
ている。

質疑 事業の妥当性は
どのように確認したのか。

答弁 現地の確認を行
うと、枝が敷地外に伸び
ており、落ち葉が道
路に散乱していたため
必要であると判断した。

質疑 草壁埋立地につい
て、敷地面積に対する
緑地の割合を定めまし
た。

答弁 草壁埋立地につい
て、敷地面積に対する
緑地の割合を定めまし
た。

質疑 辺地総合整備計画の変更
草壁会館改修工事の
追加工事に伴い、草壁
地区の辺地総合整備計
画の変更を行うもので
す。

条例の一部改正

質疑

経営状況は。

答弁

健全であると確
認している。

条例

小豆島町工場立地法第
4条の2第1項の規定

に基づく準則を定める
条例

答弁 健全であると確
認している。

その他

指定管理

施設名 小豆島町障害
者グループホーム

相手方 社会福祉法人
ひまわり福祉会



真光寺のクスノキ

質疑 指定管理料はい
くらか。

委員会調査報告

議会活性化特別委員会

平成30年11月9日、
12月13日に委員会を開

催し、次の内容を引き
続き検討すると報告し
ました。

議会活性化特別委員会

平成30年11月9日、
12月13日に委員会を開

催し、次の内容を引き
続き検討すると報告し
ました。

議員の活動報告に ついて

議員の活動報告に
ついて

タブレット端末の 導入について

タブレット端末の
導入について

決算特別委員会の 改善について

決算特別委員会の
改善について

議会の可視化につ いて

議会の可視化につ
いて

当初予算の委員会 審査方法について

当初予算の委員会
審査方法について

(商工費)
小豆島町商品券
発行事業委託料
300万円

質疑 剪定で48万円は
高いのではないか。

答弁 そのとおりであ
る。

商品券換金業務の委
託料を増額補正します。

質疑 剪定で48万円は
高いのではないか。

答弁 前年度、概算で交付
されたいた国庫負担金
等を、精算して返還す
るものでした。

万円、2～5年は300

万円であった。
審査方法について

一般質問



森口 久士 議員

池田港の駐車場不足は

町「臨時駐車場の利用を促すなど
の対応は必要と考えている」

質問 現在、休日はもちろん、平日も駐車場は満杯の状況である。

池田港に隣接する町有地の活用計画は。また、駐車場の管理は。

答弁 町有地を常設駐車場にするには、舗装等の整備が必要であり、早急に利用することは困難と考えている。

今後も、イベント時等の臨時駐車場や公共残土の置き場として活用していく。

利用者が多い時は、臨時駐車場の利用を促すなどの対応は必要と考えている。

管理は、建設課が定期的に公園部分を含め、草刈りや枝打ちを行っている。また、国

際フェリーにトイレや駐車場の清掃活動を定期的にして頂いている。

再質問 開港当初から建設課が、長期駐車もチエックし、警告に当たるチラシ等を車に貼っていたと聞く。

今後もそのような形をとっていくべきでは。駐車場のラインは、引き直しをしたことがないのではないか。

答弁 一層注視するとともに、情報を頂くなどして対応していく。



池田港の駐車場の様子



森 崇 議員

戦争体験記の作成を

町「気運が高まれば検討したい」

質問 太平洋戦争から73年が過ぎた。戦争を知らない人が増えたのだから「仕方がない」

では済まされないと思う。私も戦争の悲惨さを知りませんが、戦争を経験した先輩からあの戦争のことを伝達することは簡単ではない

と思う。その悲惨さを後世に伝えるためにも、戦争体験記を作るべきと思うが。

答弁 さきの悲惨な戦争を体験された方々の高齢化が進み、戦争を知らない世代が増えていく中で、戦争体験記はその悲惨な戦争の教

訓を後世に伝える有効な手段の一つである。その作成については行政中心、民間中心などいろいろなやり方が考えられる。町民の中に戦争体験記を作つて欲しいといつた気運が高まれば作成について検討してまいりたい。

「航路も道路」は島民の叫び

町「関係機関に対して積極的に支援を求める」

8年前の10月に瀬戸内海の復権について意見交換会があり、周辺19自治体の市町が参加し、航路維持・環境保全など幅広く議論された。航路を守ろう

というのは島民の切実な叫びである。町はどのように考えているのか。

答弁 8年前の意見交換会では、19市町が参

加のもと共同宣言を採択し、航路と離島の振興に支援を求める要望書を関係省庁に提出し

た。今後は必要に応じて他団体との連携を図りながら、国・県等の関係機関に対して積極



意見交換会の様子

質問 町長の所信表明で「健康・福祉のまち」「定住・交流のまち」「産業のまち」教育・文化のまち」「行財政改革の推進」と小豆島町を元気にする5本の柱を掲げており、町民も期待をしている。私は、その中で「行政改革の推進」は、現状の小豆島町の財政を考えた場合、喫緊の課題であり持続可能な財政運営には不可欠で、大変重要な取り組みであると思う。

しかし、所信表明後の進捗状況について、「中期財政計画」は、式な最終計画報告がない。また、「行政改革委員会」の新たな設置などは、いまだに何も聞いていない。改革で重要視されるのは、スピード感と分か

りやすい透明性である。そこで、公約を掲げて6カ月以上経過した現在、「行財政改革」に取り組んでいる改革事項や、改革を行うための策定途上項目についての進捗状況をお尋ねしたい。



藤井 孝博 議員

施政方針である「行財政改革の推進」の進捗状況は踏まえた計画を策定中である

る。現在、平成31年度当初予算並びに評価シートのヒアリングを実施中である。また、行革の一つで、府舎統合メリットである公用車削減だが、本年4月現在90台の所有を、今年度末には83台とし、平成32年度末には72台の所有目標を掲げ削減に取り組んでいた。一方で、全財政を維持できるよう予算編成や行政運営の方針として活用するため、29年度決算や30年度予算を踏まえ35年までの計画を現在策定中である。

組織構成は、町の規模に見合った組織の統廃合や職員数に見直すことが必要である。これまでの計画を現在策定中である。この数年間で約20人の幹部職員が定年退職を迎えるが、本格的な組織改革が定数管理については、平成32年度からの実施と考えており、職員の動きを注視して、遅くとも想定されるので勘定数管理については、平成33年度から定年延長を委員長に10月1日より設置し、10月中旬に各課に対し、事業や補助金の評価シートを作成依頼し先日提出があり、その数208件の事業、172件の補助金に及ぶところである。

質問 マイナンバー制度を活用したプレミアムポイントのヒアリングを実施中である。民間カード会社等のポイントをマイナンバーカードにためて、地元商店で使える自治体ポイントに、国費で交換率を上乗せするものである。しかし、小豆島では自治体ポイント制度がなく、全国でも70自治体にとどまる。町としてはどのような対応を考えているか。

そのような中、今回のプレミアムポイント制度については、まずはポイント制度の十分な周知、マイナンバーカード自体の普及が必要になる。

答弁 本制度は、概要が公表されたところでが公表されたところである。制度の詳細が不清楚な中、今後とも国が動きを注視して、遅くとも想定されるので対応していく。商工会と検討している中で、どのような懸念事項があるのか。



マイナンバーカードの見本



安井 信之 議員

消費税増税対策の対応を

町「町商工会とも協議しながら、対応に遅れないように取り組みたい」

めて、地元で買い物ができるという制度、地域経済支援ポイント制度は既に運用されている。今回、プレミアムポイント制度を活用して、国のはうから全国一律にマイナンバーカードにポイントを加算するという制度である。

そのような中、今回のプレミアムポイント制度については、まずはポイント制度の十分な周知、マイナンバーカード自体の普及が必要になる。

答弁 今回のプレミアムポイントも含めて、プレミアムつきの商品券とかキャッシュレス決済ポイント制度等々、いろんな制度も含まれているので、情報収集に努め、町商工会とも協議しながら、対応に遅れないよう取り組んでまいりたい。

再質問 地元商店がなかなか地元も廃れていく。商工会と検討している中で、どのような懸念事項があるのか。

顔写真付きの表面は、身分証明書にICチップの電子証明書は、マイナンバーは、社会保障・税・災害対策の行政手続に

荒廃する山林・竹林

急げ、循環型の対策を



中松 和彦 議員

町「まずは現地調査により現状の把握が重要だ」

質問 私たちの暮らすこの島の山々は、いつも優しく住む人々を包み込む大切な環境だ。

しかし、竹林の甚だしい侵食や、放置林の増大により、荒廃が著しい。子や孫の将来へと残してゆくべき大切な自然・環境。

特に、降雨災害に弱い竹林へは、少子高齢化の進む今、循環型の対策が急務だと考えるが、町の考えは。

答弁 税制改正により、森林環境税・森林環境譲与税が創設される。31年度から自治体への譲与が始まり、間伐や作業道の整備、人材の育成・確保、木材利用の促進・啓発に充てられる方向だ。



荒廃する竹林

竹チップや竹粉による環境に負担の少ない循環型の対応策も考えられるが、まずは現地調査により現状の把握が重要だ。

町としては、森林環境譲与税を財源に基金を創設し、地域の実情に応じた整備に活用し

農林水産課としても、竹の有効活用を検討するとともに、森林組合や関係機関と連携し取り組んでいきたい。

また、森林組合では来年、荒廃竹林への対策として現地調査と所

質問 松本町長の任期中に、現在の課長級以上の職員の大半が定年を迎える。

現在の政策統括監、参考事務官、部長制をそのまま続けていく事は、人材的にも無理だと考える。次年度以降、組織再編を行い、松本町長の意志を示すべきだと思うがその考えは。

答弁 政策統括監を初め部長や課長等の幹部職員は、これから数年間で約20名が定年退職を迎える予定である。これまでのような組織を続けていく事は難しいと考えており、部制についても十分に検討していく。

質問 町政の補完的役割を果たしているNPO法人の数や待遇は。

答弁 移住定住促進事業を委託している「トテイエ」と家庭で保育が出来ない時に一時的に子どもを預かる施設の「リトル・ビーンズ」がある。「トテイエ」には3人の職員がお



藤本 傳夫 議員

町「本格的な組織変更は平成32年度からと考えている」

見合った組織づくりを進めたいと考えている。本年度1人、来年度からは複数人の退職者がいる。組織改革するには、それなりの手続きと準備が必要となる。

来年度中頃には議会に案を示して協議して頂き、本格的な組織変更は平成32年度からと考えている。

り、町が委託料として740万円程度支出し

で従事時間で賃金が支

払われている。



トテイエが運営する「うえむらシェアハウス」

次年度以降の小豆島町の組織変更是

組織変更是

「小豆島産」ブランド化への取組を

町「これまで以上に支援していきたい」



大川 新也 議員

質問 先日、ポテトチップスで有名な湖池屋社長の佐藤氏の講演を聞く機会があり、これから小豆島のあり方にヒントを得た。島の地場産品はもとより、観光資源をはじめ丸ごと全てを「小豆島産」というブランドで発信できないか。オリーブを筆頭に地域商社事業として再度発信しては。



湖池屋社長佐藤章氏の講演（中川塾）

答弁 施政方針にも各産業がつながりを持つて、小豆島ブランドとして地場産業の魅力と可能性を高めたいとしている。佐藤氏からの

ドが活用できていない。小豆島を前面に押し出した販売戦略をすべき」との提案を生かせるように、町と商工会で協議の場を設けて情報交換を行っているところである。小豆島ブランドに向けた新たな動きや中川塾の活動について、これまで以上に支援していきたい。

猫にはその猫の置かれている立場、状況から内猫、外猫、地域猫、飼い主のいない猫と区別される。問題になっているのは、内猫以外の猫である。

既に動物の適正飼養に関する法律、県条例があり、直ちに町独自のガイドラインを設ける考えはないが、住民へ法規制に関して一層の周知、啓発に努める。

一方で、地域での話合いも重要と考える。

廃棄物処理法では野焼きは原則禁止されており。ただし『農業におけるやむを得ない場合』等は除外されている。

しかし「周辺の生活環境に影響を及ぼすとのないよう努めなければならない」とある。環境に影響を及ぼすことのないのも事実であり、農業者の良識判断に委ねるしかない。

「小豆島というブランドが活用できていない。小豆島を前面に押し出した販売戦略をすべき」との提案を生かせるように、町と商工会で協議の場を設けて情報交換を行っているところである。小豆島

最近特に多くの住民から猫の糞尿、夜間の鳴き声の苦情を聞くことがある。動物愛護の観点から一概には否定できないが、猫対策に打つ手はないものか。

既に動物の適正飼養に関する法律、県条例があり、直ちに町独自のガイドラインを設け者に起因している。

既に動物の適正飼養に関する法律、県条例があり、直ちに町独自のガイドラインを設けられる程度、現地で当事者への相談、指導を行ってきた。

これまで農業者を初めとする野焼きに対する理解がそれぞれ異なる場合の周辺配慮が、農業者には野焼きする場合の周辺配慮が、非農業者には農業の果たしている環境保全に対する理解がそれぞれ求められ、相互理解が必要である。

町内ネコ事情へ打つ手は

町「適正飼養の啓発に努める」

ネコの適正な飼養を



相互理解が必要な野焼き問題

住民に猫の適正な飼養について理解を深めてもらい、また町として飼養の仕方にについてのガイドライン等を作成して、人間と動物と共に幸せに暮らせる町を目指していくのか。

今後さまざまな機会を捕らえ周知、啓発に努める。

野焼き(農業系)の考え方

町「野焼き原則禁止を徹底」

町として再度、野焼き禁止とやむを得ない時の周辺環境への配慮を周知徹底できないか。

国保税の負担軽減を

町「急激な負担増は軽減している」



鍋谷真由美 議員

「割」など国保にしかない仕組みの廃止が必要。国へ要望をしていただきたいがいかがか。

答弁

国保の都道府県化に伴い、県が示す納付金の税率に引き上げた場合、急激な負担増となることから、30、

質問 高すぎる国民健康保険税が町民の生活を苦しめている。町民の負担軽減のために保険料の引き上げはやめ、引き下げをしていただきたいがいかがか。

全国知事会でも2014年、協会けんぽ並みの保険料に引き下げるために「公費1兆円の負担増」を求めて、政府・与党に要望した。

国保が、他の医療保険と比べて不公平な状態に置かれ、住民に重い負担を強いていることは、大問題。また、世帯人数が増えることに負担が増えること

31年度の2年間に限り国保税負担増の軽減措置を講じ、平成32年度以降は県が示す納付金及び標準保険料率に基づいた国保税率とすることとなっている。

国保税の引き下げを目的とした子供の均等割減免は国で検討している市町もある。本町でもぜひ助成をしていただきたいがいかが。

いくこととなつておらず、全国知事会や全国市長会等から国に要望を出している。国の動向を注視、情報収集に努め、他市町と足並みをそろえて要望したい。

答弁

県内の他市町との不均衡を解消するためには、何らかの助成を検討し、できる限り早い時期に実施したい。

身障者手帳4級の人にも助成を

町「検討し実施したい」

小豆島中央病院を支える姿勢は

町「連携強化しこれまで以上に関与する」



身障者手帳

月から再開、毎月開催して、運営状況、問題点などの話し合いをする。病院サイドが、11月に経営診断を依頼していく。2町長と企業長の会も開き、意思疎通を図りながらこれまで以上に関与していきたい。

答弁 小豆島中央病院

は、医療に加えて保健、介護、福祉サービスまでを総合的、一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の拠点と

アシスティムの経営状況は

とても重要な唯一の医療機関である。地域に

必要な病院を支えるの

は、町民であり、町で

あるのは当然である。

小豆島中央病院の経営

が厳しい状況にある

が、病院を支え、充実

していくために町長と

してどのような覚悟と

責任をもって取り組む

今年度開かれていないなかつた2町と病院

調整会議を10



命と健康を守る小豆島中央病院

視察研修報告

平成30年10月23日～25日にかけて、兵庫県豊岡市、奈良県桜井市、葛城市、三郷町で視察を行いました。

兵庫県豊岡市

『豊岡市歴史文化基本構想の策定経緯について』

担い手不足問題や職員の世代交代により、各地域の歴史文化遺産が色褪せる可能性があつたため歴史文化基本構想を策定した。それにより事業やイベントの趣旨・目的の意義付けがしつかりできるようになり、自分たちの地域の遺産を考えるいい機会にもなつた。

課題として一部の人のみが協力しているだけで、地域性や温度差があるので、今後は住民を巻き込んでいとのことであった。

〈研修を終えて〉

誰が主導するのがいいのか尋ねたところ、

地域主導が望ましい



奈良県桜井市

『素麺産業の振興について』

そうめんの里、そう

いて

奈良県葛城市

『葛城市クリーンセンターの中間処理施設について』

小豆島での開催を計画している。

（研修を終えて）

組合員が製造してお

り組みについて協議を行

った。なお、4年後

は小豆島での開催を計

画している。

は資源ごみを分類し売却することで約100万円の売却額になるとのことであつた。

売却出来ないゴミを減らすため、分別の呼びかけや収集時の工夫を行つている。また、

収集と処理委託を工夫し、委託費用の低廉化に取り組んでいる。

（研修を終えて）

ごみの処分や資源の回収などの在り方に、

大いに参考になるものであつた。

また、ハード面だけでなく、市民と協調しての取り組みとして、

ごみの発生抑制、再資源化など、6つのRを

掲げている。

こうした取り組みが施設の長寿命化と運営費の削減につながること

となり、真に持続可能な循環型社会の実現が可能となるものであると考えさせられる研修であった。

「熱回収施設」と「リサイクル施設」を併合した施設で、「熱回収施設」では一般ごみなどを1日最大50トン処理でき、焼却時に発生する熱を再利用している。「リサイクル施設」は資源ごみを分類し売却することで約100万円の売却額になるとのことであつた。

売却出来ないゴミを減らすため、分別の呼びかけや収集時の工夫を行つている。また、

収集と処理委託を工夫し、委託費用の低廉化に取り組んでいる。

（研修を終えて）

ごみの処分や資源の

回収などの在り方に、

大いに参考になるもの

であつた。

また、ハード面だけ

ではなく、市民と協調しての取り組みとして、

ごみの発生抑制、再資源化など、6つのRを

掲げている。

こうした取り組みが

施設の長寿命化と運営費の削減につながること

となり、真に持続可能な循環型社会の実現が可能となるものであると考えさせられる研修であった。

ととなり、真に持続可能な循環型社会の実現が可能となるものであると考えさせられる研修であった。

小豆島で起業するにあたり、直面する課題が活動の「場所」であり、それにかかる初期投資も重くのしかかる。

一方、島内、島外を頻繁に行き来する人々にとつては、島外企業の支店機能の一部分を置くことが可能だ。

このような施設ができるとによって、町の元気になり、「町の活性化」へと繋がつてゆくのではないかだろうか。

新たな可能性を発見できたように感じた。



クリーンセンターの視察の様子

奈良県三郷町

『奈良サテライトオフィス35について』

駅前にあつた市営駐輪場の3階部分を改装した施設で場所・時間にとらわれない働き方（テレワーカー）を推進するため開設された。

会社に通勤することなく仕事ができること

や、事務所を確保することなく限定的な事業活動等ができる等のメ



三郷町長より説明を受けている様子



示せ！ 「安田の力と和」 石井 純一 (安田自治会 総代)

安田自治会は世帯数820戸余、人口2200人程度と小豆島町内で一番大きな自治会です。安田には、青年団、自治会婦人部、お年寄りの百寿会等活発に活動する団体が数多くあります。新春駅伝に始まり、体育大会、香川県指定無形民俗文化財の安田踊りで精霊供養する盆踊り、内海八幡神社秋の例大祭の太鼓台奉納、5チームが参加する小豆島駅伝、他にも文化祭や芸能大会等、年間を通して安田公民館を中心に活発に活動しております。自治会は、執行部、評議員合わせて35名の役員で構成されており、安心して

楽しく暮らせる安田を目指して、住民との意思疎通に努めています。自然災害に対する防災意識も高く、安田全体では広く大きいので各地区において、日頃から訓練、連絡等意識の確認を行っております。少子高齢化が進み、自治会という名の活動が薄れつつある中、他地区、行政と連携を取りながら、住民同士のつながりを旨に「安田の力と和」の本質を目指してまいります。



香川県指定無形民俗文化財の安田踊り

桶笠バレエ小豆島教室は、現在未就学児14名、小学生7名の踊ることが大好きな子どもたちが、せいけんじこども園で、練習を行っています。
12月23日サン・オリーブで行われた芸能発表会では、初めてお化粧をした自分に、「わあ、かわいい？」「誰だかわからない」と嬉しそうな声。本番が近づくにつれて、「少し緊張してきた」と表情が硬くなり、自らストレッチや踊りの確認をする小学生。いざ本番。先程までの緊張を感じさせないくらいの笑顔で、お客様も思わず拍手をしてくなるような、かわいくて優雅な踊りをみせてくれました。

様々なイベントでバレエを踊る機会をいただき、次回は3月9日土曜日土庄町立中央公民館で行われる、せいけんじこども園の発表

まちの力 桶笠バレエ小豆島教室
会に出演させていただきま
す。是非多くの方に見に来て
いただきたいです。毎週木曜日にレッスンを行っていますので、踊ることが大好きな子どもたち、いつでも体験にいらしてください。

講師 池尻奈央
問い合わせ先
☎ 82-42228



桶笠バレエ教室

新年がスタートしました。今年の干支、「亥」にちなみ、公私共に「猪突猛進」で頑張りたいものです。
さて、今春、「平成」という時代が終わり、新天皇即位とともに新しい時代の幕開けとなります。
県下では、3年に1度の「瀬戸内国際芸術祭」が開催されます。会期中に大型連休がある今回は、爽やかな瀬戸内の風に乗って、従来に増しての集客を期待しております。

今号が、平成最後の議会だよりです。3月開催予定の定例会は、31年度予算案など重要な議案審議がありますので皆様方の傍聴をお待ちしております。

藤井孝博記

編集後記

議会を傍聴しませんか。

次回定例会の予定は 3月上旬 です。

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会
〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp